

201チームが激突！ 第10回 かわさきロボット競技大会レポート

あさの 浅野 じゅんや 純也 (ライター)

8月23～24日の2日間、川崎市の川崎市産業振興会館において「第10回かわさきロボット競技大会」が開催された。夏休み中のロボコンとして人気のこのイベント、今回で10回を数え、すっかり定着した感がある。回を追うごとに参加数が増えており、前回初めて参加数が200チームを突破、今回はそれをさらに上回る224チームがエントリー、大会記録を更新した。実際には書類審査を通過した201チームが予選に参加、優勝賞金30万円を目指して熱戦が繰り広げられた。参加者の内訳は社会人が37、学生が164と社会人が減少、学生の数が増えている。社会人は第3回大会以来の低水準、同時期にROBO-ONEが開催されることも無関係ではないかもしれない。

このイベントはバトルロボットトーナメントであり、歩行機能を持つロボット同士がリング内で対戦する格闘競技。車輪ではなく「歩行機能」という点がポイントで、機動力を高めるために多くのアイデアが盛り込まれている。回転アームなどの「武器」の装備が許されている点もこの大会ならではの、相手を横転させたりロープに押し付けることで有効や1本などの勝利ポイントが与えられる。有効2本で合わせ1本、2本先取で勝ちとなる。リングに凹凸があるのも競技性を高める要素となっている。

常連強豪が上位を独占

今年も社会人のカトレア、たんぼぼ、ROCKY、学生の神奈川工科大などの常連が予選を突破、これら強豪を軸に白熱した対戦を繰り広げた。この4チームが決勝トーナメントの各ブロックに分かれて対戦……と思ったら、カトレアとROCKY6が同じブロックに入り、3回戦で対戦。ムカデ脚による機動力が特徴のROCKY6だったが、強力な跳ね上げアームを持つカトレアの前に防戦一方。一度はリング外に転落するハプニングも。2大会連続で上位入

ベスト16に入ったロボットたち



アルテマ



Baroque f



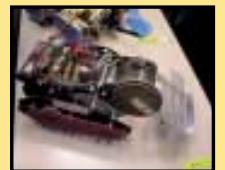
武不死



殺神皇



馬場鯨



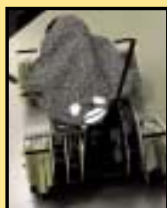
戦えDisastar



うみねこ



Fire arts



いなぎ



KASSINXiza



破決斗



ROCKY6